

埼玉県サーキュラーエコノミー推進分科会第4回総会

太陽電池モジュール リサイクル協議会について

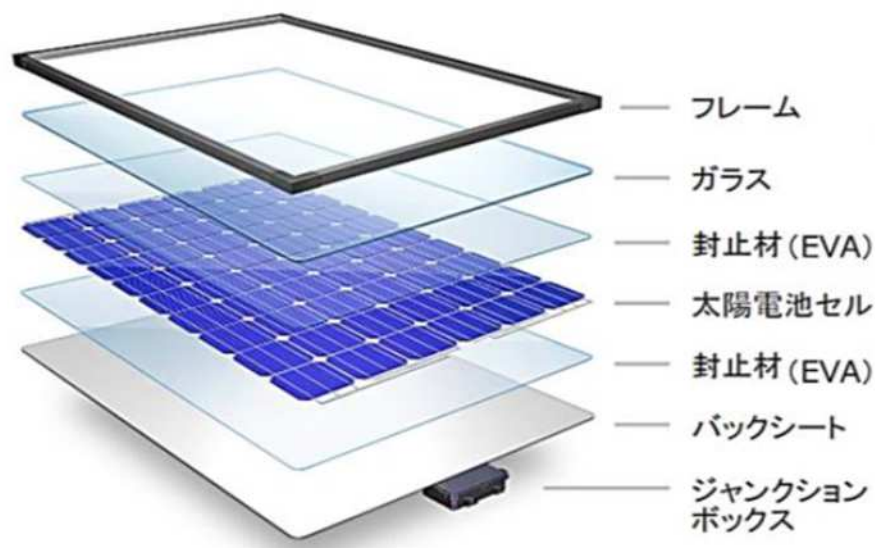
令和7年7月22日（火）
埼玉県環境部産業廃棄物指導課
監視・指導・撤去担当

埼玉県マスコット「コバトン」と「さいたまっち」



太陽電池リサイクルモジュール協議会

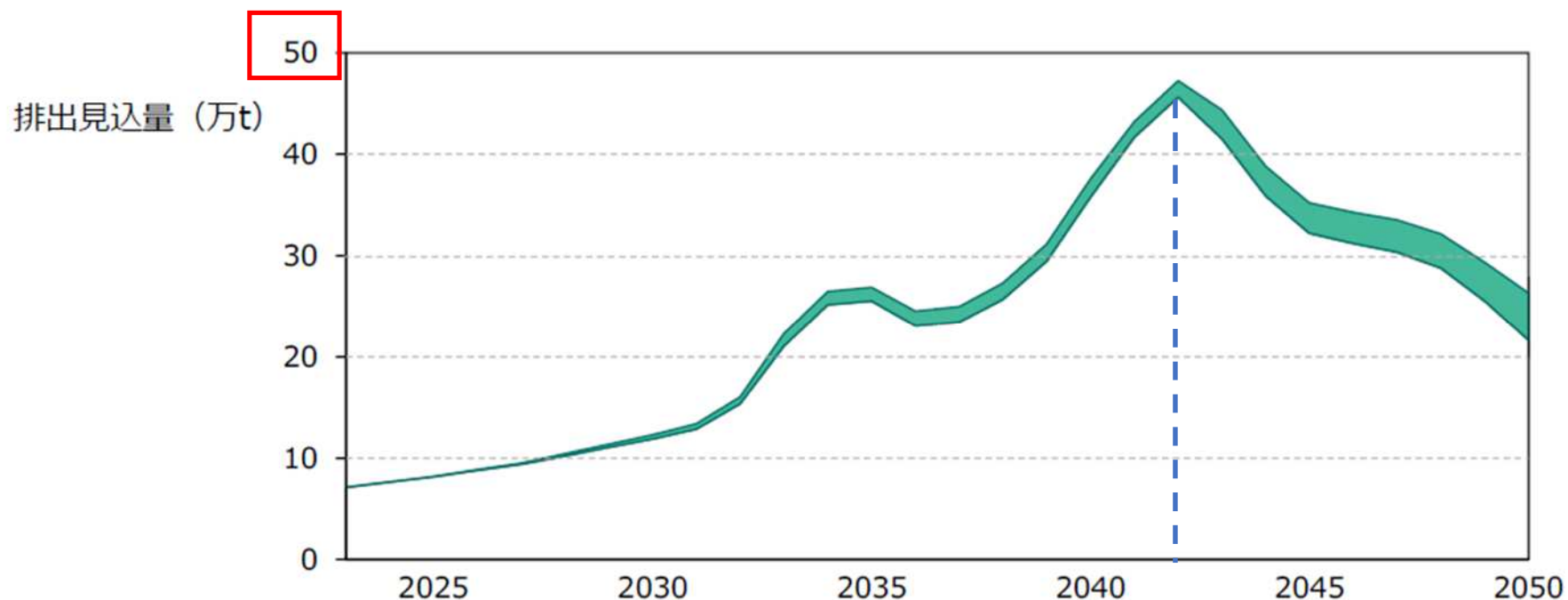
- ・ 目 的 将来的に大量排出が見込まれる使用済太陽電池モジュールについて、リユース・リサイクルの体制を確立
- ・ 設立時期 平成30年
- ・ 活動内容 セミナー、研修会等の開催、会員の交流の場づくり等
- ・ 会 員 数 会員43名（産業廃棄物処理業者、太陽光パネルの製造業者、研究機関及び行政機関等）



出展：環境省 太陽光発電設備のリサイクル制度のあり方について 参考資料

太陽光パネルの排出量予測

- 太陽光パネルの推計排出量は最大**50万 t** /年程度まで達する見込み。
- 個別リサイクル法対象の家電や自動車と同程度の排出量。
- リサイクルを進めなければ、最終処分量の大幅な増加につながる。

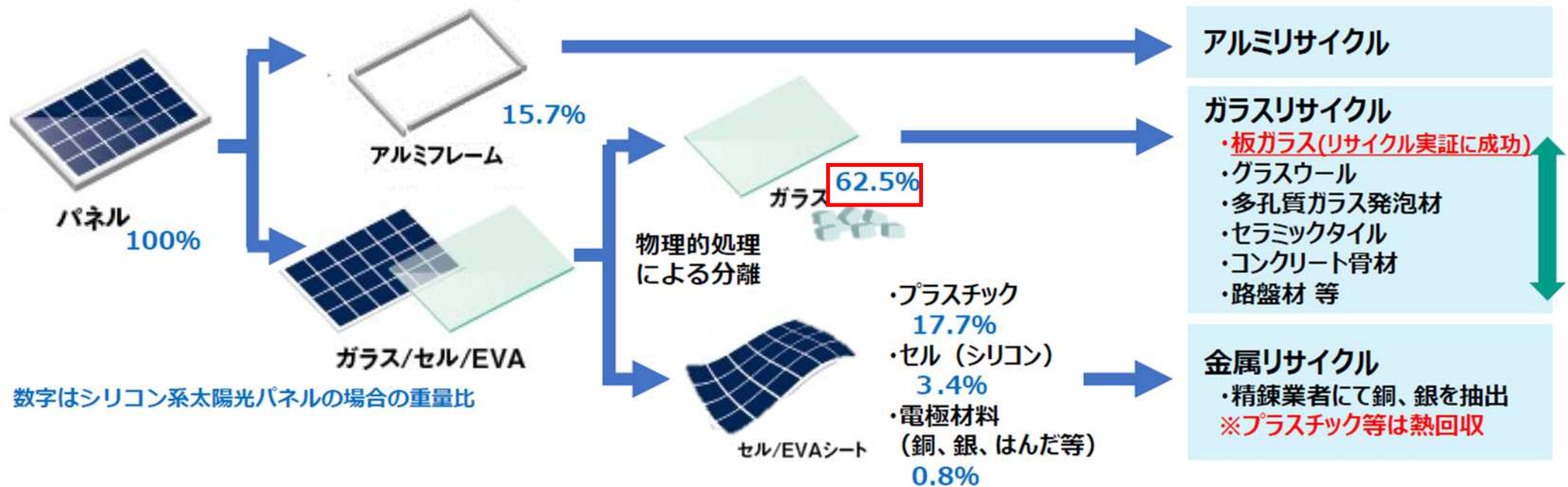


出展：環境省 太陽光発電設備のリサイクル制度のあり方について 参考資料

太陽光パネルのリサイクル

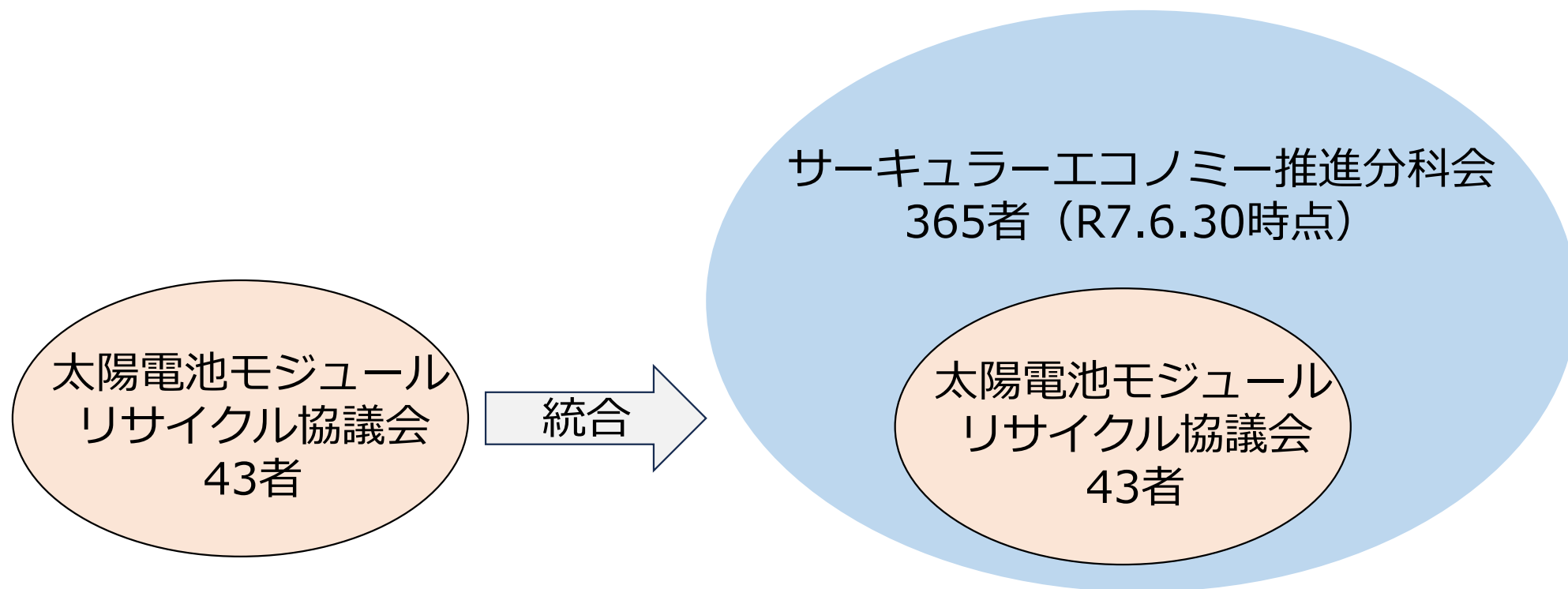
- 重量の約 **6 割を占めるガラス**のリサイクル促進が課題
- 分離したガラスに不純物（EVA、セル等）が混じる。
- ガラスの再資源化方法の模索、需要の拡大が必要

太陽光パネルの高度なリサイクルフロー



出展：環境省 太陽光発電設備のリサイクル制度のあり方について 参考資料

サーキュラーエコノミー推進分科会に統合



再資源化のマッチング、需要拡大を図る

ご静聴ありがとうございました